

(誤)

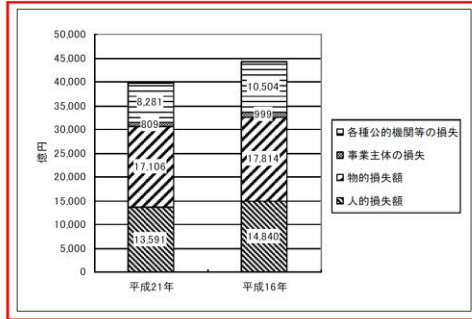


図 4-1 金銭的損失(総額)の構成

死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失は表 4-71の通りである。平成16年と比較して、減少率としては死亡が大きい、減少額としては被害者数のほとんどを占める傷害の減少が大きい。

「人的損失」については、「後遺障害」による損失額はやや増加(202億円(=5,282億円-5,080億円、4.0%)増)(表 4-9参照)したものの、「死亡」、「傷害」それぞれの損失額の減少はそれを上回っている。特に「死亡」による損失額は1,065億円(=3,071億円-2,006億円、34.7%)(表 4-9参照)減少している。死亡による1名当たり人的損失額の減少¹⁴(145万円(=2,976万円-2,831万円)、4.9%)(表 4-8参照)とともに、死者数自体の減少(3,232人(=10,318人-7,086人)、31.3%)(表 4-5参照)が寄与している。

死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失(総額)の構成比を図 4-2に示す。

表 4-9 死亡・後遺障害、傷害別の人的損失額(再掲)

	単位: 百万円			
	死亡	後遺障害	傷害	死傷合計
平成21年	200,638	528,219	630,275	1,359,132
平成16年	307,108	507,984	668,868	1,483,960
増減率(%)	-34.7%	4.0%	-5.8%	-8.4%

14 死亡1名当たり人的損失額が前回調査と比較して減少していることについては、人的損失額が相対的に低く評価される60歳以上の被害者の比率が、前回調査時より上昇した(死者全体の52%→61%)ことが一因である。

(正)

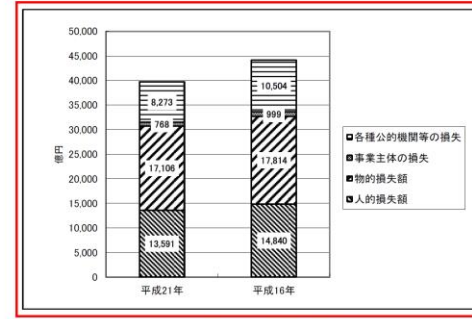


図 4-1 金銭的損失(総額)の構成

死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失は表 4-71の通りである。平成16年と比較して、減少率としては死亡が大きい、減少額としては被害者数のほとんどを占める傷害の減少が大きい。

「人的損失」については、「後遺障害」による損失額はやや増加(202億円(=5,281億円-5,080億円、4.0%)増)(表 4-9参照)したものの、「死亡」、「傷害」それぞれの損失額の減少はそれを上回っている。特に「死亡」による損失額は1,065億円(=3,071億円-2,006億円、34.7%)(表 4-9参照)減少している。死亡による1名当たり人的損失額の減少¹⁴(145万円(=2,976万円-2,831万円)、4.9%)(表 4-8参照)とともに、死者数自体の減少(3,232人(=10,318人-7,086人)、31.3%)(表 4-5参照)が寄与している。

死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失(総額)の構成比を図4-2に示す。

表 4-9 死亡・後遺障害、傷害別の人的損失額(再掲)

	単位: 百万円			
	死亡	後遺障害	傷害	死傷合計
平成21年	200,638	528,148	630,275	1,359,061
平成16年	307,108	507,984	668,868	1,483,960
増減率(%)	-34.7%	4.0%	-5.8%	-8.4%

14 死亡1名当たり人的損失額が前回調査と比較して減少していることについては、人的損失額が相対的に低く評価される60歳以上の被害者の比率が、前回調査時より上昇した(死者全体の52%→61%)ことが一因である。

※ 赤字下線部、赤枠は正誤箇所

(誤)

表 4-71 死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失（総額）（平成21年）

単位: 億円

	死亡	後遺障害	傷害	物損	合計
人的損失額	2,006	5,282	6,303	-	13,591
物的損失額	27	257	4,335	12,487	17,106
事業主体の損失	56	139	613	-	809
各種公的機関等の損失	143	816	7,123	198	8,281
平成21年計	2,233	6,494	18,374	12,686	39,787
平成16年計	3,422	6,073	21,322	13,339	44,157
増減額	-1,189	421	-2,948	-653	-4,370
増減率(%)	-34.7	6.9	-13.8	-4.9	-9.9

(参考: 各種公的機関等の損失を除いた場合)

平成21年計	2,090	5,678	11,250	12,487	31,506
平成16年計	3,220	5,463	11,865	13,105	33,653
増減額	-1,130	215	-615	-618	-2,147
増減率(%)	-35.1	3.9	-5.2	-4.7	-6.4

注) 四捨五入のため、各欄の差分は必ずしも増減欄の値と一致しない。

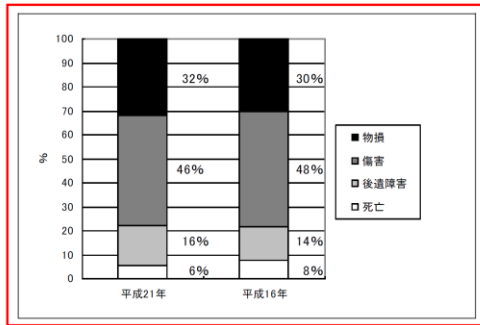


図 4-2 死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失（総額）の構成比

(正)

表 4-71 死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失（総額）（平成21年）

単位: 億円

	死亡	後遺障害	傷害	物損	合計
人的損失額	2,006	5,281	6,303	-	13,591
物的損失額	27	257	4,335	12,487	17,106
事業主体の損失	52	132	583	-	768
各種公的機関等の損失	137	815	7,123	198	8,273
平成21年計	2,223	6,485	18,344	12,685	39,737
平成16年計	3,422	6,073	21,322	13,339	44,157
増減額	-1,199	412	-2,978	-654	-4,419
増減率(%)	-35.0	6.8	-14.0	-4.9	-10.0

(参考: 各種公的機関等の損失を除いた場合)

平成21年計	2,086	5,671	11,221	12,487	31,465
平成16年計	3,220	5,463	11,865	13,105	33,653
増減額	-1,134	207	-644	-617	-2,188
増減率(%)	-35.2	3.8	-5.4	-4.7	-6.5

注) 四捨五入のため、各欄の差分は必ずしも増減欄の値と一致しない。

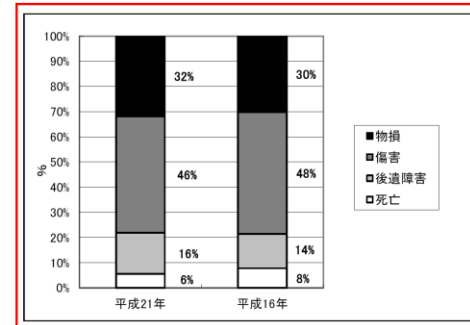


図 4-2 死亡・後遺障害・傷害別の金銭的損失（総額）の構成比

※ 赤字下線部、赤枠は正誤箇所

(誤)

(2) 被害者1名当たり金銭的損失額

被害者1名当たり金銭的損失額は、死亡については約3,152万円、後遺障害は約967万円、傷害は約162万円、物損は損害物1件当たり約25万円と算定された。

死亡、後遺障害、傷害、死傷別の被害者1名当たり金銭的損失額を平成16年と比較すると図 4-3～図 4-5の通りとなる。

表 4-72 被害者1名（損害物1件）当たり金銭的損失額

単位: 千円

	死亡	後遺障害	傷害	物損	死傷
人的損失額	28,315	7,864	555	-	1,124
物的損失額	382	382	382	246	382
事業主体の損失	797	207	54	-	67
各種公的機関等の損失	2,025	1,214	628	4	669
平成21年計	31,518	9,667	1,619	250	2,242
平成16年計	33,165	9,650	1,769	244	2,411
増減率(%)	-5.0	0.2	-8.5	2.4	-7.0
(参考: 各種公的機関等の損失を除いた場合)					
平成21年計	29,494	8,453	992	246	1,573
平成16年計	31,208	8,682	985	240	1,608
増減率(%)	-5.5	-2.6	0.7	2.5	-2.2

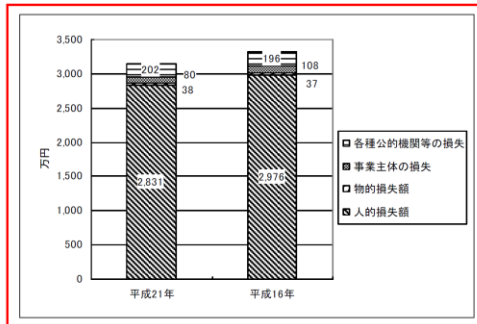


図 4-3 死亡による金銭的損失（被害者1名当たり）の構成

(正)

(2) 被害者1名当たり金銭的損失額

被害者1名当たり金銭的損失額は、死亡については約3,137万円、後遺障害は約965万円、傷害は約162万円、物損は損害物1件当たり約25万円と算定された。

死亡、後遺障害、傷害別の被害者1名当たり金銭的損失額を平成16年と比較すると図 4-3～図4-5の通りとなる。

表 4-72 被害者1名（損害物1件）当たり金銭的損失額

単位: 千円

	死亡	後遺障害	傷害	物損	死傷
人的損失額	28,315	7,863	555	-	1,124
物的損失額	382	382	382	246	382
事業主体の損失	741	197	51	-	64
各種公的機関等の損失	1,929	1,213	628	4	668
平成21年計	31,367	9,654	1,617	250	2,238
平成16年計	33,165	9,650	1,769	244	2,411
増減率(%)	-5.4	0.0	-8.6	2.5	-7.2
(参考: 各種公的機関等の損失を除いた場合)					
平成21年計	29,437	8,442	989	246	1,570
平成16年計	31,208	8,682	985	240	1,608
増減率(%)	-5.7	-2.8	0.4	2.5	-2.4

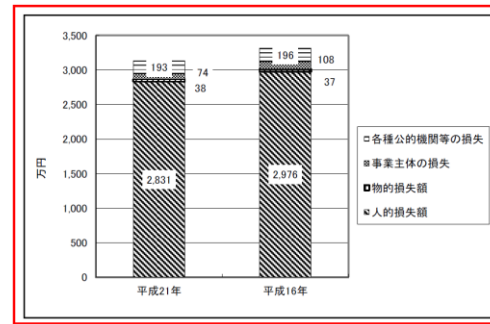


図 4-3 死亡による金銭的損失（被害者1名当たり）の構成

※ 赤字下線部、赤枠は正誤箇所

(誤)

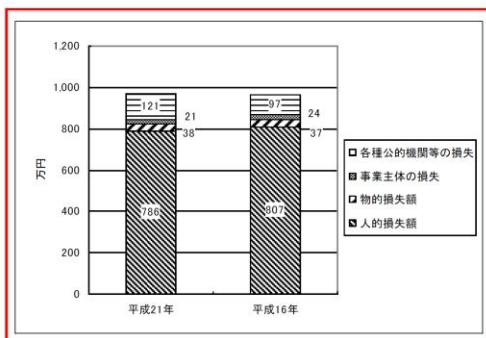


図 4-4 後遺障害による金銭的損失（被害者1名当たり）の構成

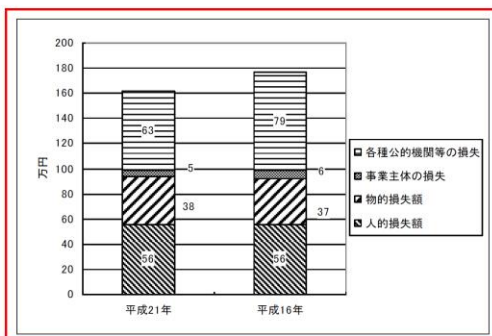


図 4-5 傷害による金銭的損失（被害者1名当たり）の構成

(正)

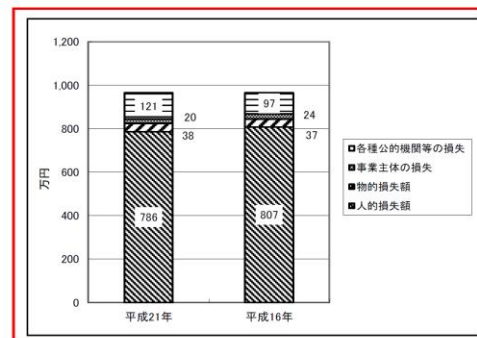


図 4-4 後遺障害による金銭的損失（被害者1名当たり）の構成

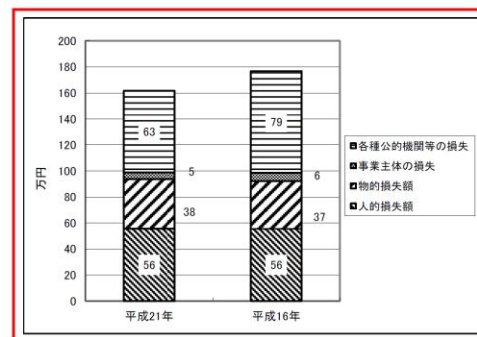


図 4-5 傷害による金銭的損失（被害者1名当たり）の構成

※ 赤字下線部、赤枠は正誤箇所

(誤)

第6章 結果のとりまとめ

6-1 交通事故の損失額

(1) 総額

交通事故の損失額を表 6-1に示す。

死傷損失も含む平成21年の交通事故による損失額（慰謝料分除外せず）は約6兆3,340億円、対GDP（470兆9,370億円）比は1.3%（ $=6,334 \div 470,937$ ）と算定された（前回調査は1.4%）。

参考のため、慰謝料を除いた場合の損失額も算定したところ、約5兆8,070億円となった（慰謝料の算定方法は、「参考資料2. 本調査における金銭的損失の算定方法」（122ページ）参照）。

表 6-1 交通事故の損失額（平成21年）

単位: 十億円

内訳項目		死亡	後遺障害	傷害	物損	合計
金銭的 損失	人的 損失	114	428	290	—	832
	逸失利益・治療関係費・葬祭費	87	100	340	—	527
	慰謝料 [A]	201	528	630	—	1,359
	小計	3	26	433	1,249	1,711
物的損失	6	14	61	—	81	
事業主体の損失	14	82	712	20	828	
各種公的機関等の損失	223	649	1,837	1,269	3,979	
金銭的損失合計 [B]	1,509	577	269	—	2,355	
非金銭的 損失	死傷損失 [C]	1,644	1,126	1,766	1,269	5,807
総計（慰謝料分除外） [B]-[A]+[C]	1,733	1,226	2,106	1,269	6,334	
総計（慰謝料分除外せず） [B]+[C]						

注1) 死傷損失の値は「表 5-17 非金銭的損失額の全容」の死傷損失額による。なお、「後遺障害」は負傷QからOの合計、「傷害」は負傷Aの値である。

注2) 四捨五入のため、各集計欄の値は必ずしも各欄の集計結果と一致しない。

費目別損失額の構成（図 6-1）を見ると、金銭的損失が全体の63%を占めており、物的損失が28%と大きな比率となっている。非金銭的損失については、死亡損失が全体の24%、負傷損失が13%となっている。

死亡・後遺障害・傷害・物損別損失額の構成（図 6-2）を見ると、死亡が27%、後遺障害が19%、傷害が最も大きく34%、物損が20%となっている。さらに金銭的損失・非金銭的損失別に見ると、傷害の金銭的損失（29%）、死亡の非金銭的損失（24%）、物損の金銭的損失（20%）の順に高い割合を占めている。

(正)

第6章 結果のとりまとめ

6-1 交通事故の損失額

(1) 総額

交通事故の損失額を表 6-1に示す。

死傷損失も含む平成21年の交通事故による損失額（慰謝料分除外せず）は約6兆3,290億円、対GDP（470兆9,370億円）比は1.3%（ $=6,329 \div 470,937$ ）と算定された（前回調査は1.4%）。

参考のため、慰謝料を除いた場合の損失額も算定したところ、約5兆8,020億円となった（慰謝料の算定方法は、「参考資料2. 本調査における金銭的損失の算定方法」（122ページ）参照）。

表 6-1 交通事故の損失額（平成21年）

単位: 十億円

内訳項目		死亡	後遺障害	傷害	物損	合計
金銭的 損失	人的 損失	114	428	290	—	832
	逸失利益・治療関係費・葬祭費	87	100	340	—	527
	慰謝料 [A]	201	528	630	—	1,359
	小計	3	26	433	1,249	1,711
物的損失	5	13	58	—	77	
事業主体の損失	14	81	712	20	827	
各種公的機関等の損失	222	649	1,834	1,269	3,974	
金銭的損失合計 [B]	1,509	577	269	—	2,355	
非金銭的 損失	死傷損失 [C]	1,644	1,126	1,763	1,269	5,802
総計（慰謝料分除外） [B]-[A]+[C]	1,732	1,225	2,103	1,269	6,329	
総計（慰謝料分除外せず） [B]+[C]						

注1) 死傷損失の値は「表 5-17 非金銭的損失額の全容」の死傷損失額による。なお、「後遺障害」は負傷QからOの合計、「傷害」は負傷Aの値である。

注2) 四捨五入のため、各集計欄の値は必ずしも各欄の集計結果と一致しない。

費目別損失額の構成（図6-1）を見ると、金銭的損失が全体の63%を占めており、物的損失が27%と大きな比率となっている。非金銭的損失については、死亡損失が全体の24%、負傷損失が13%となっている。

死亡・後遺障害・傷害・物損別損失額の構成（図6-2）を見ると、死亡が27%、後遺障害が19%、傷害が最も大きく33%、物損が20%となっている。さらに金銭的損失・非金銭的損失別に見ると、傷害の金銭的損失（29%）、死亡の非金銭的損失（24%）、物損の金銭的損失（20%）の順に高い割合を占めている。

(誤)

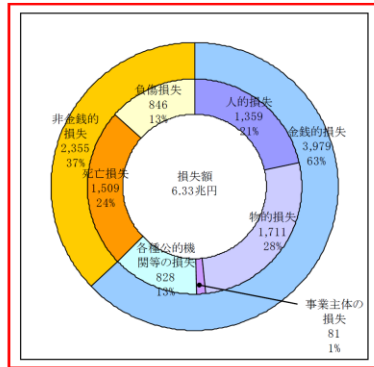


図 6-1 費目別損失額の構成

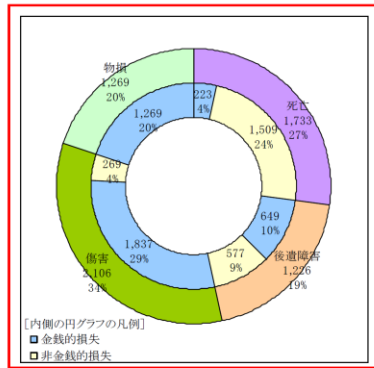


図 6-2 死亡・後遺障害・傷害・物損別損失額の構成

(正)

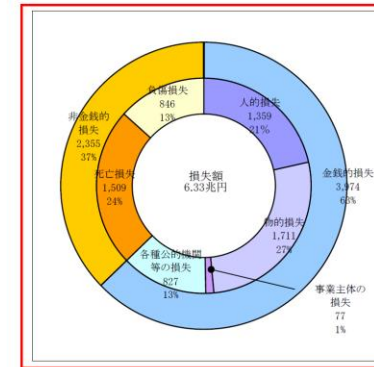


図 6-1 費目別損失額の構成

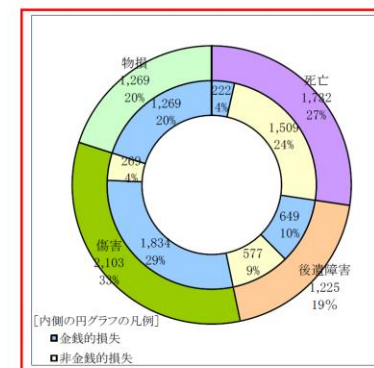


図 6-2 死亡・後遺障害・傷害・物損別損失額の構成

※ 赤字下線部、赤枠は正誤箇所